

平成28年度 倉吉市幼児教育研究会の開催概要

1 趣旨

就学前教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、倉吉市内全保育園・認定こども園長と小学校長とが相互に連絡・交流し合い連携を図ることを目的とし開催している。

2 概要

- (1) 日時 平成29年2月9日(木) 15:00~16:45
- (2) 場所 上灘公民館 会議室1
- (3) 参加者数 38名
- (4) 内容

① 開会

② 実践紹介

河北小学校区(あゆみ保育園 村岡園長)

- ・保幼小中が同日(11/21~11/27)にノーメディアに取り組んだこと。初めて保小でプール交流を行ったこと。

明倫小学校区(明倫小学校 生田校長)

- ・「名前を呼ばれたら返事をする。はきものを揃える」を共通実践とし、どんな子どもを目指しているのか分かりやすく職員や保護者へ周知をしたこと。スタートカリキュラムを幼保小で話し合い編成中であること。

高城小学校区(高城保育園 岩田園長)

- ・5館連絡会を毎月1回行っていることで、共通理解ができ同じ思いで子どもにかかわることができたこと。5年生と年長との年2回の交流について紹介。

③ 保育園・認定こども園・小学校連携について、各小学校区単位でのグループ協議

○平成28年度小学校区の取組について成果と課題(主な感想)

(主な感想)

- ・共通の目標を持ち、具体的に同じ歩調で取り組めた。
- ・小学校に行くだけだったが、園での交流ができて園を知ってもらうことができた。
- ・小学校職員が園での給食の準備、試食、片付けを体験し、園と小学校の違い等を感じ、それをふまえてのかかわりを考えることができた。
- ・園と小学校合同の保護者講演会や園と小学校職員の合同研修会を実施したい。
- ・保護者向け子どもの育ちマップを作りたい。

④ 閉会

3 成果

今年度は、各小学校区で行った幼保小共通実践について、河北小校区と明倫小校区と高城小校区の実践事例を紹介していただいた。意見交換では、各小学校区での取組について成果と課題を協議し、実践事例の発表を参考に、来年度へ向けて一層の推進を図るため、具体的な連携について計画することができた。また、倉吉のめざす子どもの姿(接続期)が出来、活用をしていきたい。

